

分ければ資源、混ぜればごみ

ごみの減量と分別に協力を！

市内で発生するごみは、エコセンター恵那とリサイクルセンターで処理しています。可燃ごみはエコセンター恵那で細かく破碎し、乾燥して圧縮することにより、RDF（廃棄物固形燃料）となり、事業所の助燃材として供給されています。不燃ごみと資源ごみはリサイクルセンターで再分別し、資源となるものは売却し、再利用できないものは最終処分場に埋め立てます。

分別を徹底することにより、ごみ全体の排出量の削減が期待できます。廃棄されるほとんどの紙はティッシュの箱やトイレトーパーの芯、菓子の箱、封筒などです。雑紙に分別すれば、資源としてリサイクルできます。ただし雑紙としてリサイクルできない紙もありますのでご注意ください。詳しくは「市ごみ百科事典」の23ページで

資源ごみ（紙類）を確認ください。※市ごみ百科事典は、環境課（本庁舎2階）や各振興事務所で配布しています

分による環境への悪影響を極力少なくすることができず、限りある資源を有効に繰り返し使う社会、循環型社会をつくるために大切な活動です。

ここでは、ごみの減量へのヒントや、分別によるリサイクルの推進について紹介します。

可燃ごみの組成分析（平成30年度）

項目	割合(%)
紙・布類	46.0
ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	37.7
台所から出るごみ	8.9
木・竹・わら類	4.6
不燃物	0.0
その他	2.8
合計	100.0

3R活動の推進

3R活動とは、Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の三つのRの総称です。三つのRに取り組むことで、ごみを限りなく減らし、ごみの処理や埋め立て処

■無駄な包装は断る。
■詰め替え容器に入った製品や、簡易包装の製品を選ぶ。
■利用頻度の少ないものは、レンタルやシェアをして利用する。
■リユース：繰り返し使う
使用済みになっても廃棄しないで、もう一度使うことです。
■修理して、長く大事に使う。
■詰め替え用ボトルを繰り返し使う。
■リサイクル：再資源化する
廃棄物を回収して、形を変えてたり、再生させたりして再び利用することです。
■資源ごみの分別回収を徹底する。
■リサイクル製品を積極的に利用する。

■これは可燃ごみです！
く間違えやすいごみく



①プラスチック製の植木鉢



③液体洗濯用洗剤の容器とふた

る場合が多くあります。ごみの出し方で迷った場合は、詳しい分別方法を解説した「市ごみ百科事典（保存版平成30年3月発行）」で、分類や出し方などを確認ください。



②シャンプーやリンスなどのポンプ用容器
※ポンプ部分は不燃ごみ



④プラスチック製三角コーナー

上記の①から④は、不燃ごみとして出されることがとても多くあります。分別せず、不燃ごみで出された場合は収集を行いませんのでご注意ください。この他にも、可燃ごみとして出すごみが不燃ごみとして出され

※重要！
リユース品！

提供ください
新学期に向けてランドセルや指定かばん、制服や学用品を集めています。卒業などで不要となった制服や学用品で、まだまだ使える物をお譲りください。愛用していた物をリユース品として、再び活躍させてみませんか。

新学期フェア
■期間：3月15日(金)～4月28日(日)
■対象：ランドセル、中学校指定かばん、制服、ジャージ
フェア期間中は無料で提供します！
※リユース品のため、希望の品がない場合がありますので、予めご了承ください



**ふれあいエコプラザ
をご利用ください**

ふれあいエコプラザの資源回収スペースには、新聞や雑誌、段ボールなどの古紙や古着、飲料缶、瓶、発泡トレイなど、25品目を持ち込むことができます。生ごみを家庭内で堆肥化する方法の普及啓発や各種環境学習教室の開催、不用品の展示販売なども行っています。分別すれば資源として再生利用できるものがたくさんあります。

ふれあいエコプラザを活用して、ごみの減量とリサイクルの推進をしてみませんか。

利用時間：午前9時～午後4時
休館日：月曜日、火曜日
12月29日から翌年1月3日
場所：長島町正家 1015 番地 3
問い合わせ：25-1515